

土砂災害ハザードマップとは？

What is a Landslide hazard map? 什么是土石流灾害危害图? 토사 재해 위험지도란?

土砂災害ハザードマップは、大雨によってがけ崩れ等が発生し、被害を受ける可能性がある区域と、避難に関する情報を示した地図です。

A landslide hazard map is a map that indicates areas with potential landslide hazards caused by heavy rain, as well as information on evacuation shelters in the region.

土石流災害危害图是一张显示可能受暴雨引起的土石流灾害影响的地区和疏散信息的地图。

토사 재해 위험지도는 폭우로 인해 붕괴가 발생하여 피해가 있을 수 있는 지역과 대피에 대한 정보를 보여주는 지도입니다.

土砂災害警戒区域について

土砂災害警戒区域は、神奈川県が令和3年5月までに指定した区域を掲載しています。

土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)	土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)
土砂災害が発生するおそれがあり、発生した場合に住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。	土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。土砂災害特別警戒区域は、土砂災害警戒区域の中に指定されています。
土砂災害警戒区域では、住民が迅速な避難ができるよう、災害情報や避難情報を適切に伝達できる体制を構築します。	土砂災害特別警戒区域では、 ●特定の開発行為に対する許可制 住宅地分譲や、老人ホーム・病院などの要配慮者利用施設の建築のための開発行為には、許可が必要です。 ●建築物の構造規制 建築確認時に、想定される衝撃等に対する安全性の確認が必要となります。 ●建築物の移転勧告 県知事は、損壊が生じ、住民等に著しい危害が生じるおそれがある建築物の所有者に対し、移転等の勧告を図ることができます。

土砂災害ハザードマップの使い方

ステップ① 自宅の位置や緊急避難場所を確認しましょう。
自宅や緊急避難場所を確認して、付属のマイマップシールを貼りましょう。

ステップ② 家族や近所の方等と、大雨のときに危険な場所や安全な避難場所を話し合います。
自宅周辺にある土砂災害警戒区域や、がけ・谷筋付近、浸水が想定されている区域など、大雨のときに危険な場所や、安全な避難場所はどこなのかを話し合い、シールを貼りましょう。

ステップ③ 避難経路を設定し、実際に歩いてみましょう。
避難経路は、危険となる場所を避けて設定しましょう。設定した避難経路を実際に歩いてみて、危険な場所が見つかった場合には、見直しましょう。

ステップ④ 災害時の対応を話し合います。
「自宅周辺の危険箇所」、「避難場所」、「避難経路」、「助けが必要な方」について、家族や近所の方等と話し合い、これらの情報を共有して、いざというときに協力し合うことが重要です。

ステップ⑤ 非常用持ち出し品を準備しておきましょう。
「日常の備え」に記載している「非常時に持ち出すもの」の項を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しておきましょう。

ステップ⑥ わが家だけのハザードマップを完成させましょう。
ステップ①～④を参考にマイマップシールを使い、マップに示しておきましょう。また、各家庭に配布している「さがみはら防災ガイドブック」に掲載しているマイ・タイムラインシートを完成させて、避難するタイミングを確認しておきましょう。

災害情報（避難情報等）に関する事項

災害時に出される情報 ～土砂災害は立退き避難が原則です!!～

段階的に発表される防災気象情報・避難情報と市民のとるべき行動

時間経過	警戒レベル	気象庁等の情報	市が発令する避難情報	市民のみながとるべき行動
2～5日前	1	早期注意情報 (警報級の可能性)		災害への心構えを高める
1日前～大雨当日	2	大雨注意情報 大雨警報に切り替える可能性が高い注意報	氾濫注意情報 氾濫警戒情報	自らの避難行動を確認
	3	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難情報	危険な場所から高齢者等は避難
雨が強まる (数時間前)	4	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報 (線状降水帯)	氾濫危険情報 避難指示	危険な場所から全員避難
	5	大雨特別警報 氾濫発生情報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!

警戒レベル4までに必ず避難を完了!

情報伝達の流れ
大雨になりそうな時は、気象情報や防災情報を確認しましょう。

さがみはら防災マップ
風水害時避難場所などの防災施設や土砂災害・洪水のおそれがある区域の情報を集約した電子マップで、スマートフォンやパソコンなどで見ることができます。災害時には、風水害時避難場所などの開設状況や混雑状況を表示する「災害時用」のマップにもアクセスできます。

情報の入手方法

気象情報や避難情報等の防災情報は、様々な方法で確認できます。自分の身を守るため、積極的に情報を入手しましょう。

市からの防災情報

- 相模原市ホームページ(災害・緊急情報)
- 相模原市 災害緊急情報
- ひばり放送(防災行政用同報無線)
- 市ホームページ(ひばり放送)
- ひばり放送テレホンサービス
- テレビ神奈川(tvk)データ放送
- 相模原市 LINE 公式アカウント

その他の防災情報

- 国土交通省 川の防災情報
- 相模原市気象情報
- 神奈川県雨量水位情報
- 神奈川県災害情報ポータル
- 気象庁 キキクル(危険度分布)
- 神奈川県土砂災害警戒情報システム

土砂災害のしくみ

土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでのゆがみ、突然崩れ落ちる現象です。崩れ落ちるまでの時間が短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことがあります。	山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。	斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆがりと斜面下方に移動する現象です。土塊の移動量が大きいため、甚大な被害が発生します。

土砂災害時の注意事項

土砂災害からの避難の時に注意すべき危険箇所

大雨時の土砂災害は、がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流及び地すべりの3種類がありますが、がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)と地すべりは、山の高い方から低い方へ地面が崩れたり、滑ったりします。土石流は、谷から扇状に谷筋を下って行きます。谷が深い場合は扇状に広がらず、谷筋を細長く下って行きます。斜面の周辺や谷の出口(土砂災害警戒区域内)に住んでいる場合や、避難時に通る場合は注意しましょう。

急傾斜地は、斜面が高い方から低い方へ崩れます。斜面の上も下も崩れる可能性があります。

土石流は、谷から斜面や谷筋を下ります。

避難経路上に土砂災害警戒区域が掛かっていたり、土砂災害警戒区域となっていない場合、がけ等がある場合は、大雨時に崩れる可能性があります。早めに避難行動の開始を!

避難経路は、出来る限り広い道路を選択し、土砂災害警戒区域や浸水想定区域が掛かっている経路を選択します。

※土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件や降雨の状況等により、土砂災害が発生するおそれがあるため、様々な防災情報などに十分注意しながら、早めに避難してください。
※土砂災害警戒区域以外の場所でも、がけ崩れや土石流などの土砂災害が発生することがあります。十分に注意してください。

避難の心得

避難する時に気をつけること

土砂災害は、命をおびやかす可能性が非常に高いため、危険な場所からの立退き避難が原則です。正確な情報入手して、早めの避難を心がけましょう。

- 状況により、すばやく避難**
避難情報などが発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。マイ・タイムラインを作成しておくこと、いざという時の避難するタイミングが確認できます。
- 通電火災に注意**
家屋浸水等でコンセントや電気製品が濡れているところに通電した場合は、火災になることがあります。避難などで自宅等を離れる際は、電気ブレーカーを落としましょう。
- 地域で助け合おう**
単独での行動は避け、近所の人たちと地域で安全な場所へ避難しましょう。
- 安全なルートで避難**
川べり、地下道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。がけや谷の出口を通る時は、注意しましょう。
- 緊急避難場所では指示に従いましょう**
緊急避難場所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名等を報告しましょう。マスク、手指消毒液、体温計等を持ち参り、密を避け、感染症対策に努めましょう。ベットを連れて避難する場合には、必ずケージに入れて指示された場所で飼育してください。
- 雨が止んだ後も災害は起きる**
雨が止んだ後も災害が発生する可能性があります。自宅等へ戻る場合は慎重に行動しましょう。

土砂災害では立退き避難が原則

土砂災害は、いつでも発生するが予測できませんが、大雨の予報は事前に発表されます。大雨の予報が発表された場合は、命を守るため、早めの避難が重要です。土砂災害のおそれがある区域は、必ず立退き避難を行ってください。もし行動が遅れ、避難ができなかった場合は、近隣の丈夫な高い建物や山と反対側の2階以上の部屋に避難する等の行動で、できる限り命を守るための行動をしてください。

危険な場所から早めに離れる(立退き避難)
緊急安全確保(土砂災害が発生し切迫した場合)

緊急安全確保(緊急避難場所等までの移動が危険と感じる場合の措置)
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)が想定される区域では、山と反対側の2階以上へ移動してください。土石流が想定される区域では、木造家屋は、土石流によって家屋が全壊し、命が守れないことがあるため、近所の堅牢な建物(できれば高層階)や、河川や浸水より高い場所へ移動してください。

日常の備え

非常時に持ち出すものは

非常時(避難時)に持ち出すものは、災害の発生に備えて、普段からリュックサックなどの非常用持出しに準備しておきましょう。持ち出し品は最小限とし、両手は使えるようにしておきましょう。

非常用持ち出し品(例) ※準備したものに☑チェックを付けましょう。

飲料水	食料(アルファ化米・チョコレート・缶詰など)	眼鏡・コンタクトレンズ	懐中電灯	携帯ラジオ	靴・スリッパ	軍手・使い捨て手袋
衣類	生理用品	紙おむつ(乳幼児用・成人用)	タオル	ブランケット・寝袋	携帯トイレ	
医薬品・常備薬	ばんそうこう・包帯・常備薬(必ず入れよう!)	貴重品(現金・通帳・保険証など)	筆記用具	乾電池・携帯充電器		
ナイフ・缶切り	洗面用具(歯ブラシなど)	ティッシュペーパー・トイレットペーパー・ウェットティッシュ	ポリ袋	ヘルメット・防災ずきん		

※緊急避難場所では、原則として物資の配布は行いませんので、必要なものを持参してください。

使いながら備える「ローリングストック」

災害用に特別なものを用意するのではなく、日頃から食べ慣れているもの、使い慣れているものを多めに備蓄し、消費したものを補充することを「ローリングストック」といいます。

消費した分の購入 → ローリングストック → 古いものから消費

相模原市防災設備協同組合
TEL:042-740-1222 FAX:042-744-4169